

平成 21 年 10 月 1 日 発行

社会的養護の当事者推進団体 なごやかサポートみらい

みらい通信 第 1 1 号

愛知県名古屋市北区西志賀町 5 丁目 1 3 番地の 1

TEL (052) 911-8523

FAX (052) 912-7104

HP <http://nagoyakamirai.web.fo2.com>

11 月は児童虐待防止月間です。

「みらい通信」は会員の皆様にお送りしているなごやかサポートみらいの広報誌です。

行政機関・名古屋市・愛知県・岐阜県・三重県の児童養護施設・自立援助ホームにお送りさせて頂いています。当会はまだ、任意団体で会員様からの会費・寄附金・助成金で運営しています。広報誌は 2 ヶ月に 1 回(偶数月)に発行し送付させて頂きます。

1. ウェルカム T o 大阪 みんなの会DX

(CWXカナダ・メイプルリーフがやってくる)



7 月 31 日～8 月 3 日に CVV (大阪) が主催するみんなの会に参加しました。みんなでは、カナダ ARC でユースリーダーとして活動しているワーカーとカナダのケアを受けてきた 3 人が参加していました。

私は、3 日目の会に参加したのですがみらい(名古屋)に入会して初めての活動だったのでとても緊張しました。会では、最初にゲームや自己紹介をして参加者の緊張を自然に緩和し

ていてとても良い雰囲気でした。私も、緊張が徐々にやわらいで楽しく参加

できました。お昼からは、ユースリーダーとして活動しているカナダの女性 2 人の話を聞



きました。カナダのケアの話やなぜユースリーダーとして今活動するようになったかなどの過程を話してくれました。私も、父親を亡くしてから養護施設に入所していたので、カナ

ダのケアを受けていた女性の話に感銘しました。

－ 1 －

そのあとに、今養護施設に入所している子供たちと将来の夢を話し合っ
て発表するコミ

ニ
ケーション活動をしました。

まず、いくつかのグループにわかれて子供たちが将来どう

していきたいか話し合っ、まとめた内容を他のグループに発表しました。

最初は、なかなか夢を話してくれなくて「大丈夫なのかな？」と内心不安でしたが、話し合いが進むにつれ夢についての考えを熱く語りあっていました。他のグループの発表でもみんなの考えが真剣で、将来についての考えをしっかりと持っているのだと感じまし



た。

なごやかみらいサポート当事者 西野 加里奈（19）

「CWXカナダ・メープルリーフがやってくる」 会長 清水真一

今回は名古屋からは3名の当事者が参加をしました。

1日目は、大阪の施設で生活している高校生と当事者が集まって交流をしました。

2日目は大阪の施設見学で児童養護施設あおぞらへ行きました。

昨年、新しく建物を建てられました。

施設の説

明を職員の方にして頂き、施設案内と屋上では畑がありました。

施設案内の後には、手作りのおやつを頂きました。とても美味しかったです。

おやつ後は施設に入所している子ども達とフルーツバスケットをして遊びました。

3日目は、大阪の施設で生活している高校生と当事者・支援者とカナダのパークから来た、ユースリーダーの方3名と椅子取りゲームをした



後、3人一組になって名前をつけたりしました。午後からはドッチボールをして、将来についての話をしました。夜は、当事者と支援者、ユースリーダーの方とで当事者活動についての話をしました。

4日目は、奈良観光を楽しみました。夜は大阪へ戻りサヨナラパーティーに参加、大阪の施設の子ども達も参加しました。とても楽しい4日間になりました。CVVの皆さんありがとうございました。



- 2 -

2. インケアのお子さんとの交流会 「第1回ピアキャンプ」に参加して



8月8日～10日の2泊3日で日向ぼっこ(東京)の主催で行われましたキャンプに参加しました。

都合により日帰りでの参加になりましたが、東京の新宿駅に集合してマイクロバスに乗り千葉県鴨川市太海浜(大海海岸)へ行きました。

参加者は、合計11名(日向ぼっこのスタッフ2名、高校生3名、施設職員1名、当事者(退所者5名))が参加しました。

バスの中で約3時間くらいでした

が自己紹介をして、施設での話をしたり、写真を撮ったりみんなで楽しく過ごしました。

民宿について少し休憩してから海へ行きました。砂浜で遊んだり海で泳いだりと楽しみました。自分も海に行って泳ぐのも久しぶりでとても楽しく過ごすことが出来ました。夕食まで一緒に過ごし、2日目以降は仕事があった為にその日のうちに特急・新幹線で名古屋へ帰りました。1日の参加でしたが今、施設で生活している高校生と施設での生活について、将来についてなどお話を聞くことが出来て良かったです。全日参加出来れば良かったと思いました。



なごやかサポートみらいでもこのような企画をできればいいなあと、今後の課題として考

えていきたいと思ひます。

3. キャンプ(能登) NPO子どもサポートネットあいちとの協同事業

8月19日～21日小学生の子ども60名程と日本福祉大学長谷川ゼミナール・堀場ゼミナールと有志の大学生の方が参加をして行いました。箸・スプーン作り、カヌーや地引網、飯合炊飯、キャンプファイヤーを行いました。

能登では参加されませんでした、若狭のキャンプでは母子支援施設の子供達も参加を



しました。今回は、児童養護施設へは、参加募集を行わなかった為に参加はありませんが参加した子供達は夏休みの思い出の1つになればと思ひます。 - 3 -

4. 「未来へ向けてチャレンジ合宿200

9」に参加して

精華学院 (ケアワーカー) 川岸 慰隆

私は、三重県にある児童養護施設 精華学院でケアワーカーをしている川岸と申します。

施設出身者であり、施設職員として現在、奮闘・葛藤中です。

今回、人とのつながりもありご縁あってこの「チャレンジ合宿」に参加させていただき、職場外の子供たちと関わる貴重な機会が生まれました。私の自身の学びにもなりましたことを、なごやかサポートの会長・清水様ならびに皆様に感謝しています。

今回私は、プログラムの中の1日目の最終、グループワークの講師をさせていただきました。



講師といってもグループ分けされた6人の子供達とざっくばらんに話をするのが役割で、堅苦しいものではありません。「自立」＝「自分で生活していく」ということについて、施設出身者としての立場から好き放題子供達に語らせてもらいました。プログラムの最終ということもあり、最初は「はじめまして」→「はよ、おわって～」→「どんなことがききたい？」→「知らん」とテン

ションが低い感じでしたが(まあ、当たり前リアクションです。)コンビを組ませている

だいた、もう一人の講師・坂場さんと私自身の生い立ちについて話をすると、徐々に耳を傾

むけてくれたように思ひます。

子供達は、共通して思っていることは「不安だけどなにをしたらいいのか、わからないということでした。



ついつい、「まずは朝、自分で目覚まして起きれるようになること！」と説教ぎみに話をしてしまう場面もありましたが、漠然とした子供たちの不安に対して、我々がやるべきことは「具体的な方法」を指示し、一緒に取り組んでいくほかないように思います。

それを子供達は求めているんだなあ、特に最近、普段の子供たちとの生活の中でも、痛感することがあるのですが、今回のグループワークの場面でも感じました。

子供達とやりとりするにはあまりに短い1時間という中で、得体の知れないオッサンからの話が、どこまで、子供たちに届いたかは分かりませんが、出身者からの話を聞く機会は、子供たちにとって貴重な時間だと思います。

最後に、今回のグループワークで感じたことを、日々のケアワークにつなげていきたいと思っています。

— 4 —

名古屋市の「未来へ向けてのチャレンジ合宿」でお話しさせていただきました。

特定非営利活動法人 社会的養護の当事者参加推進団体 日向ぼっこ
渡井さゆり（理事長兼当事者相談員）

8月25日(火)は名古屋市内の児童養護施設で暮らされている中学校2年生から高校生27名を対象とした施設児童向け就労自立意識向上研修「未来へ向けてのチャレンジ合宿」で、施設で暮らしていた先輩としてお話をさせて頂きました。

この合宿は、その日の12時から1日半かけてミッチリ！私の話の前には「コミュニケーション・ビジネスマナートレーニング」と「レクリエーション」が行われていたようです。私も参加したかったのですが、妊娠中で疲れやすくなっているため、お言葉に甘え直前に現地入りしました。どこの誰だかわからない人より、共に時間を過ごし少し打ち解けて、身近に感じて貰えた上で話したかったのですが...今は体調を第一です。

入所中の様々な思いや今の内にチャレンジして欲しいことなどお話をさせて頂いたのですが、夕食・入浴の直後ということもあってコクリ・コクリとしている中高生もいました。「そりゃそうだろうな～」と内心微笑ましいものでした。



その後、進学希望や就職希望等のグループに分かれ、施設で暮らしていたOB・OBを交えた話し合いが行われました。私の参加させて頂いたグループの中高生7名は各々ご自分の夢

を語ってくれ、とても頼もしく感じました。これからも自分の思いを大切に、人生を楽しんで頂きたいです☆

翌日は、雇用主の方からの「仕事観」や施設職員の方からの「出会いと性について」のお話など。

大人の私が聴いてもとっても面白い有意義な時間でした。その後の予定があったので昼食は頂かずおいとましたのですが、チョコチョコお話をさせて頂いた中高生の皆さんは元気いっぱい、こちらも元気を頂きました。

今振り返ると、座学中心だったのもっと子どもたちが主体的に話し合える時間があればより有意義かと思いました。でも、市や施設の職員さんの反省会で「子どもたちのお茶会を」といった声も出ていたので、来年度はより充実した内容かもしれません。

参加した中高生の皆さんが、希望を持って社会に出られるよう、心から願います☆

日向ぼっこ HP (<http://move.hinatabokko2006.main.jp/?day=20090827>) より抜粋

— 5 —

～未来に向けてチャレンジ合宿2009に参加して～

南山寮出身 坂場

千明さん

8月25日の研修に職業別で看護師として参加しました。

看護師希望の寮生は居ませんでした。子供達が皆真っ黒に日焼けしていて、健康体の姿はとても微笑ましく映りました。夏の終わりに先輩からのアドバイス。漠然としていた将来の夢が少しでも現実的に捉えられる機会になってくれたらいいなあと思いました。

いいなあと思いました。

私自身、グループ別で同室になった講師の方の話がとても良くて、自分にとってもとても有意義な時間となりました。ありがとうございました。

今後も皆様の活躍を応援させていただきます。

～未来に向けてチャレンジ合宿2009を終えて～

昨年に続き、名古屋市子ども青少年局青少年自立支援室・名養クラブと今年は、当会が企画・運営をさせて頂きました。参加人数は27名と昨年よりは少なかったですが内容は、昨年の反省を踏まえてレクリエーションを入れてみました。

レクリエーションは、時間がもう少しあれば良かったのですが、参加した子どもと職員さんと一緒になって楽しく行いました。

先輩からのメッセージでは、NPO法人社会的養護の当事者参加推進団体日向ぼっこ(東京)の理事長 渡井さゆりさんを招いて渡井さんの生い立ちや退所前後のことなどをお話して頂きました。その後、4つのグループに分かれて施設を退所してからの話や仕事についての話、社会に出てからの苦労話など、自立に向けての話をしました。今年は1グループに2名の先輩をお招きして話をしました。最後にはグループ毎に話をしたことを発表して終わりました。来年も今年の反省を踏まえてよりよい合宿に出来ればと思います。

～参加した児童・職員からの感想～ アンケートより ◎=児童 ○=参加職員

[コミュニケーション・ビジネスマナートレーニングの感想]

◎今まではコミュニケーションという意味がわからなかったけど、今回話を聞いてわかりました。

◎コミュニケーションという言葉が普段使うのにいざとなつて「コミュニケーションってどんな意味?」って聞かれた時にすごく困って、コミュニケーションという意味はすごく思い深いと思いました。

◎去年とは違って話がわかりやすく楽しく聞けて良かった!

○とても分かりやすく、子ども達の関心を引かせる話し方やマナーを教えて頂きとても良かったと思います。

[レクレーションの感想]

◎他の施設の人と話せて良かったです。

◎やっぱり「団体・集団」を動かすには、それだけの力やスキルが必要です。講師の方のスキルはすごかったです。

○遊びを通して他者と触れ合った為、子ども達の気持ちもほぐれたと思うのでとても良かったです。

- 6 -

○楽しい部分と大切な話の部分がおりまざりつつもメリハリがあつて良かったです。

[先輩からのメッセージ]

◎将来のこととか考えてなかったけど、これから少しずつ考えていかななくては駄目だと思いました。

◎将来の夢をもって、夢をあきらめず頑張ろうという気持ちになった。

◎最初から最後まで何もかも丁寧に教えてもらつて本当に良かったです。苦労した事も話してくださつてとても勉強になりました。

◎渡井さんの話は本当に共感しました。大学進学のお話を聞きました。とても分かち合う部分もありつつ、発言したり、アドバイスをもらつたりなどとても良かったです。

◎施設を退所してからのお話や社会でのお話を聞いてとても勉強になりました。職員の思っている事なども聞けたのでとても良かったです。

○話自体は具体的な所も聞いて良かったと思いますが講師の人が話す時間の占める割合が少し長過ぎたように思います。最初の講演は大切なポイントをもう少し明確にして頂けると良いように感じました。

○とても気さくに子ども達と関わってくれていたので、子ども達も目を輝かせて話を聞いていたと思います。

○「日向ぼっこハンドブック」の中身がとてもよく子ども達を知りたいこと、社会に出て困るであろうことが書かれておりとてもためになりました。

○直接の職業とは関係なくても、施設出身ということで、出身者からの話はためになったのではないかと! 子ども達の発言をもう少し聞きたかった。

[雇用主からのお話]

◎ネズミに例えてお話を頂いた内容はとても分かりやすくとても良かったです。

◎僕は、学歴で人生が左右すると思って、今まで勉強に励んでいました。社長さんの話を聞いて学歴だけではなく「全て自分自身で決まる」ということがとてもわかりました。

◎細かい話を詳しく話されていてとても勉強になりました。働くという事は本当に大変な事だと強く感じました。将来の事にも勉強になったし、これからの事にもつながっているのではないかなあと思いました。

○話にとっても説得力があり、子ども達の心にとっても響いたようです。ぜひ来年も子ども達の為に講演して頂きたいと思います。

○いろいろな話をおりませて話して頂いたのでとても興味深く、料理の世界などの話が聞けたので良かったです。子ども達にとっても働く事ことには関心があるので、自分の努力で人生が変わる”チャンスを得れば”変われるということが、子ども達へ伝わるといい話だったと思いました。

[思春期の心と体]

◎とても大事な事を教えて頂きとても嬉しかったです。やっぱり自分の体は大切なので自分で体を守りたいです。悩みなどがあつたら職員に相談したりする事も必要だなと思いました。とても勉強になりました。

- 7 -

◎コンドームとかあまりわからなかったから今回学べて気をつけていきたいし危ない誘いにはのらないようにします。

◎本当に分かりやすく、これからの事に繋がると思うのですごく良かったです。

◎男女関係はとても難しいし、携帯電話などもとても身近なので気づく事がたくさんありました。

○凄くわかりやすく楽しく話をして頂き、子ども達も集中して真剣に聞いていた。性教育について施設ではきちんとやってこなかったので自分の施設でも子ども達に伝えていく時間をもつ必要性を感じました。

○実際に体験するかもしれないシチュエーション(とても身近な話)だったのでとてもためになりました。性のことはみんな恥ずかしがり話をしづらい話題ですがそれを明るく子ども達としてみえてとても良かったと思いました。

[今後] こんな研修があつたらいいなあとと思うもの]

○実際に園を卒業してからの苦労体験やどうそれを乗り越えてきたのか?など話をしたい。

○先輩からのメッセージを半日か1日使って話して欲しいです。

○自分に合った仕事を選ぶポイントやアドバイスを子ども達に分かりやすく教えてくれるものがあつたらいいなあと思いました。

[2日間通じて感じたことなど]

◎色々な話が聞けてとても楽しかったし、将来の自分の為になったと思うし、また参加して

色々な事を勉強していきたいと思いました。

○先輩からのメッセージがとても子ども達は良かったようなので時間を長くして欲しい。

○様々なタイプの講師の先生を呼んでもらって子ども達にとって有意義な研修だと思います。

○今回初めての参加だったのですが、職員としてはとても楽しく有意義な研修を企画・準備をされてきた関係者の皆様には感謝したいと思うと同時に、今後の施設での仕事に必ず役立てたいと考えています。



5. 第2回なごやかサロン(施設入所児童対象)

[日 時]9月6日(日)13時～16時 [場 所] 名古屋市北区役所 7階 小会議室

今回のサロンは、千葉県で司法書士をしている伊見真希さんをお招きして契約についての話と実際に契約する側と契約される側に分かれて実際に契約を行いました。また、施設出身の当事者で、こもれび(千葉県)の当事者団体の代表 佐野 優さんをお招きして茶話会をしました。参加者は、名古屋市3施設、愛知県1施設の中学・高校生の方が参加しました。

今後も施設入所児童対象のサロンを計画していきますので是非ご参加下さい。

次回は、2月を予定しています。ご要望がございましたら当会までFAX・メールでお寄せ下さい。お待ちしております。本事業はSBI 子ども希望財団様の寄附金により行っています。

— 8 —

～ 施設入所児童対象 なごやかサロンに参加して ～
講師 伊見 真希さん(司法書士)

今回なごやかサロンで「法律教室」を企画させていただきました。

自立にあたって必要な「契約」を経験してみよう！という企画でした。

当日は、コンピュータの調整の関係で始まりが遅くなってしまい、最後は時間が足りなくなりましたが、みんなそれぞれの立場になりきって相手と交渉し、一つの契約をまとめることの大変さや、自分が思う条件がなかなか通らないことなどを体験してもらえたのではないのでしょうか。

社会に出ると、＜働く＞＜部屋を借りる＞＜お金を借りる＞など生きていく上で必要な「契約」に出会います。

今回の法律教室を通して、内容をよく理解して契約することの大切さはもちろんですが、＜働く人＞＜部屋を借りる人＞＜お金を借りる人＞にとって不利な契約から私たちを守っ

てくれる法律があることもぜひ知ってもらえたらと思います。

私はふだん司法書士という仕事をしていますので、日頃の仕事の経験を踏まえて、全国の施設で

いろいろな内容の法律教室をしています。

また機会があればぜひなごやかサロンに呼んでくださいね。

今回は、名古屋・愛知県の司法書士の方々にもお手伝いを頂き行いました。

ありがとうございました。

～施設入所児童対象 なごやかサロンに参加して～ こもれび(千葉県) 佐野 優
さん

9月6日、なごやかサロンに参加をさせてもらいました!法律教室と私のざっくばらんなお話と言うことでしたが、施設の子たちがちらほら～って感じの集まりで、最初は正直どうなることかと思いました。

それでも、20名近くの施設で生活する高校や先生が集まりいざ開始!!でもみんな、緊張しているのがすごく伝わってきて、こっちまで緊張(笑)それでも少しずつ場は和み、法律教室でのグループでの話はヒートアップ。

なかなか、楽しかったです_後半は施設で生活したことのある私が、おやつやジュースを飲みながら、自分の生い立ちや経験を話させてもらいました。真剣に聞いている子や、だるそうに聞いている子、よくわからなさそうに聞いている子などが、たくさんいましたが、そんなみんなも、最後の感想を書いてもらった紙には、とても素直に率直な感想が書いてあり、嬉しさやほほえましいと感じました(*^o^*) すごく貴重で、大切な出会いだったと感じます。またみんなに会える機会があればいいなとひそかに想いました☆ 夕飯は、私の誕生日が2日前にあったと言うことで、私が行きたい!!といった マウンテンというお店にも連れて行ってもらい大満足です(・▽・)

とっても素敵な時間を、ありがとうございました☆☆

- 9

6. ホームページが新しくなりました。

昨年9月21日になごやかサポートみらいが発足して1年になります。これからも、社会的養護の当事者団体として里親家庭で育った方や、児童養護施設で育った方への居場所作り、そして今、児童養護施設で生活している子ども達への自立支援活動を施設訪問事業や、なごやかサロン(施設入所事業対象)の事業を行ってまいります。

また、これから社会的養護を担う方への支援など学習会などを開催して社会的養護について皆さんで考えていければと思います。当会は来年4月を目標にNPO法人化することが先月の運営会で決定しましたので法人化に向けて準備を進めてまいります。

今回、ホームページをリニューアルしまして今までよりも予定などサロンの開館日がわかりやすくなりました。入会についてはホームページから入会申し込みが出来るようになりました。

また、皆様からなごやかサポート みらいへの運営などについてのご意見・ご要望が書けるページを設けましたので是非、ご意見お聞かせ下さい。今後の運営に役立ててまいります。

7. 事業予定 10・11月

10月11日(日) みらい運営会 13:00～14:00 [場所]
NPO 法人設立準備会 14:30～16:00 愛知県司法書士
会館

12日(月) 日向ぼっこ展覧会・音楽ライブ

東京児童養護施設 若草寮 みらいの歌を作詞作曲した

mi h o ちゃんがライブに参加しま

す。

18日(日) NPO子どもサポートネットあいち協同事業 登山(御在所)

24日(土)～25日(日) 当事者団体交流事業 ひだまり (モデル事業・施設見
学)

31日(土) 施設訪問事業 中日青葉学園 ・ 名古屋芸術大学文化祭 mi h
o ちゃんライブ

11月 3日(火) 施設訪問事業 名古屋文化キンダーホルト ・ 白鳩学園

10日(火) 運営会 日本福祉大学名古屋キャンパス 南館 19:30～21:
30

14日(土) 施設訪問事業 名古屋養育院

15日(日) 施設訪問事業 日本児童育成園

21日(土) 鎮魂のつどい&パレード 日比谷公会堂

子どもの虐待死を悼み 命を讃える市民集会20

09

23日(月) 施設訪問事業 鳴海聖園天使園

28日(土) NPO法人設立総会 日本福祉大学名古屋キャンパス南館 19:
30～20:30

なごやかサロンの開館日はホームページをご覧ください。

なお、事業予定については変更することもあります。変更等がありましたらホームページで
ご案内致します。

[会員登録状況] 学生会員 19名 一般会員 90名 (内当事者
11名)

団体会員 6団体

合計会員

数 119名 ・ 6団体